

# 回遊性のあるまちづくりのしくみ



望月弘幸議員

【質問】市民会館建設及び飯山城跡の整備について、同じに進めていく必要があると思うが。

【市長】飯山城は新幹線開業後の市のシンボルとして整備を進める。周辺の駐車場、案内板等の整備も行う。市民会館建設も、併せて検討していきたい。

【教育委員長】市民にとって大切な資産である城跡整備を今後関係部署と連携して進めていく。

## ◇教育行政について

【質問】ふるさと学習について、子ども達のふるさとについてアンケート調査をしたが、市の木・花・蝶等あまり浸透していない。もう少し自然、芸術、文化の素晴らしさを学習する必要があるのでは。

【教育長】アンケートの結果を聞き、定着しないと思う。学校と地域が密着に連携をとっていく。

## ◇教育現場について

【質問】地域を知り、地域を愛する地元出身の校長、教師の割合は。また、副読本の活用はどうか。地域活性化、魅力ある学校づくりに向け、校長、教師が取り組んで欲しい。

【教育長】10学校中7名は地元校長先生、一般教職員は50パーセントくらいである。副読本は飯山市、中野市のみ。学芸員・ふるさと館と連携し、ふるさと教育等を指導していく。



ふるさと館のしめ縄づくり教室の様子

## ◇集落について

【質問】限界集落および市職員がいない集落はいくつか。市職員がきめ細かく地域に入り、支援担当者とする必要があると思うが。

【答弁】限界集落は6集落、市職員がいない集落は49集落。活性化センターを中心に今後進めていく。

## 諮問

### ◇諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

小林 友子 氏

《適任と認める》

## 請願・陳情審査 意見書

### ◇請願第1号

「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願

### ◇請願第2号

30人規模学級の早期実現や複式学級の編制基準の改善、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願

### ◇請願第3号

長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願

《趣旨採択》

請願者

飯山市教職員組合

代表者 藤田 茂樹

### ◇陳情第7号

長野県地方税共同化に関し県に意見書を提出することを求める陳情

《不採択》

陳情者

長野県商工団体連合会内

長野県税金オンブズマン

代表委員 毛利 正道

### ◇陳情第8号

安心して住める「悠久のふるさと木島」をめざす陳情

《不採択》

陳情者

木島地区区長会

区長会長 手塚 元彦

### ◇陳情第9号

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める陳情

《継続審査》

陳情者

新日本婦人の会 飯山支部

代表 常田 綾子

### ◇意見書第2号

千曲川総合治水対策の推進に関する意見書

《可決》

※意見書については、関係機関へ送付しました。

## 勤続15年表彰・感謝状の伝達

沼田喜一議員、小林洋之議員、望月弘幸議員は、在職15年の議員活動などに対し、4月28日に北信越市議会議長会、5月26日に全国市議会議長会よりそれぞれ表彰されました。6月定例会の開会に先立ち、議長より表彰状の伝達がありました。

また、佐藤正夫議長が全国市議会議長会の評議員を務めたことに対し感謝状を受けた報告がありました。



左から 沼田喜一議員、望月弘幸議員、佐藤正夫議長、小林洋之議員

## 管外視察報告

先ごろ行った各委員会の管外視察について報告します。

## 総務委員会

委員長 小林 喜美治

平成22年5月10日～12日

北海道 石狩市・歌志内市・沼田町

### ◎石狩市

石狩市の「市民の声を活かす条例」について視察してきました。

地方分権の時代を迎え、地方自治の主体である「市民」が持つ知識や経験、あるいは日々の生活の中で市民が感じる「思い」などを、市の活動に反映させていくことが必要です。

この条例は、市民が持つ知識などをまちづくりに活かすことだけに留まらず、地域に対する市民の関心を高め、より良い、より豊かな石狩市の姿はどうあるべきかについて市民と市がともに考え、その実現のために協働するような関係で結ばれたまち、さらには市民と市役所が役割を分かち合いながらともに地域を治める「共治」のまちを作り上げることにつなげていくとしています。

審議会には女性も公募し、広く意見形成しており、市民参加の取り組みが参考となりました。

### ◎歌志内市

財政再建に取り組む歌志内市の財政健全化計画について視察して



石狩市役所にて

きました。

現在の歌志内市は、日本国内で一番小さな市です。平成7年、唯一の基幹産業であった空知炭鉱が閉山となり財政基盤が崩壊しました。

平成18年度の決算では、空知産炭地域総合発展基金からの不適切な長期借入金の一括返済に伴い大幅な収入不足となり、厳しい財政事情に陥りました。このため、任意ですが18年から23年まで財政健全化計画に取り組みました。目標は23年度でしたが、19年度決算で、黒字化の目標を達成し、20年度では基金を積み戻すことができました。市民の財産と生命を守るため住民福祉サービスの堅持、職員数の削減と行政機構のスリム化、税等の徴収強化、直営事業の見直し、公共施設の民営化、適正な受益者負担、遊休地・遊休施設等資産の売却などに取り組んでいます。

請願者

飯山市教職員組合

代表者 藤田 茂樹

### ◇陳情第7号

長野県地方税共同化に関し県に意見書を提出することを求める陳情

《不採択》

陳情者

長野県商工団体連合会内

長野県税金オンブズマン

代表委員 毛利 正道

### ◇陳情第8号

安心して住める「悠久のふるさと木島」をめざす陳情

《不採択》

陳情者

木島地区区長会

区長会長 手塚 元彦

### ◇陳情第9号

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める陳情

《継続審査》

陳情者

新日本婦人の会 飯山支部

代表 常田 綾子

### ◇意見書第2号

千曲川総合治水対策の推進に関する意見書

《可決》

※意見書については、関係機関へ送付しました。

現在は黒字決算となっておりますが、地場産業がないため苦しい財政運営を強いられています。小規模自治体における財政健全化の取り組みが参考となりました。



歌志内市役所にて

### ◎沼田町

北海道庁の推薦を受けて、沼田町の過疎対策と地域活性化について視察してきました。

沼田町は歌志内市と同様に炭鉱閉山後、人口激減、財政悪化の道をたどっていました。北海道でも有数の豪雪地帯であり、農業を基幹産業とする沼田町では雪を地域資源の1つとして捉え、農産物の貯蔵を始めとするあらゆる分野に活用しています。

また、自衛隊の誘致、あんどん祭の導入、地場産業を中心に他との差別化をはかっていました。自衛隊弾薬隊の着隊、灯籠祭の実施、